

【

【第3号議案】

従事分量配当（労務費）の単価統一について（案）

倉橋部町グリーンファームにおける労務費単価につきましては、出夫者が少ない平日出夫を奨励することを主な目的として、昨年度より平日出夫とそれ以外の土日祭日出夫との間に単価差を設け、実施いたしました。

しかしながら、その運用においては種々問題点も露呈してまいり、また、昨年度決算値からしても労務費の占める割合が他法人と比べて相当高く、何らかの是正が必要となってまいりました。

つきましては、今般そうしたことから労務費単価を下記により変更いたしたく、ご検討をお願いいたします。

記

《変更前》

- ・ 平日出夫の場合
 労務費単価：1時間あたり1,500円とする。
- ・ 土日祭日出夫の場合
 労務費単価：1時間あたり1,300円とする。

《変更後》

- ・ 労務費単価：平日、休日を問わず一律1時間あたり1,300円に統一する。

★実施時期 平成24年度より（平成23年12月21日分より）

★当変更により年間労務費額は、前年に比べて約30万円の減となります。

以上

平成 24 年度支払い労務費・役員報酬について

昨年度の決算結果を検討・分析の結果今年度の収支見通しは大変厳しく、労務費を一律 1,300 円（1 時間あたり）に変更しても、今年度当初計画の労務費額・役員報酬額が計画どおり支払えない事態も想定されます。

(参考) 平成 23 年度の当期末処分利益処分 (案)

- ・当期末処分利益 7, 505, 393 円 (a)
これを次の通り処分する。
- ・利益準備金 760, 000 円 ((a) × 0. 1)
- ・従事分量配当金 5, 976, 575 円 (労務費、役員報酬等)
- ・施設整備積立金 760, 000 円
- ・次期繰越利益 8, 818 円

上記の通り労務費・役員報酬は従事分量配当で、当期末処分利益処分より求め、総会で確定いたします。

従って、今年度 (平成 24 年度) の当期末処分利益が当初計画の『利益準備金+労務費額+役員報酬額』未満の場合、従事分量配当金額を操作 (不足額を『労務費額+役員報酬額』より同カット率で算出) する事となり、結果的に労務費単価 (1 時間あたり 1300 円)・役員報酬額 (合計額：88 万円) を減額せざるを得なくなります。

(注) 水利手当も従事分量配当ですが、これは減額せず予定どおり支払います。

(例) 平成 24 年度の決算結果【(注) 下記数値は例です。】

- ・当期末処分利益 5, 000, 000 円 (a)
- ・利益準備金 500, 000 円 ((a) × 0. 1)
- ・従事分量配当金 4, 500, 000 円 (労務費、役員報酬等)

【配当可能額算出】

	◆実労務費： 5, 100, 000 円の場合
	役員報酬： 880, 000 円の場合
	(計) 5, 980, 000 円の場合
	◆支払い可能額算出 $450 \text{万円} \div 598 \text{万円} = 0. 75$ (支払い可能指数)
	・支払可能労務費 $510 \text{万円} \times 0. 75 = 382 \text{万円}$ (労務費単価を下げる)
	・支払可能役員報酬 $88 \text{万円} \times 0. 75 = 66 \text{万円}$ (役員報酬額を下げる)
	(計) <u>448 万円を支払う</u>

また、この場合労務費の支払いが上期で発生し下期で無い場合等その減額が事務上できない場合 (返金は要求せず!) は、不足額分を「施設整備積立金」より取り崩し、翌年度の労務費支払い時徴収 (精算) いたしたく考えます。